



ほんものを たべよう

提出日
6/ 火 水 木 金
27 28 29 30

配達日
7/ 火 水 木 金
4 5 6 7

翌々週分配達日
7/ 火 水 木 金
11 12 13 14

2023.7月1週号

Alter Weekly Order Catalogue

オルターの提案

本当に安全な食べものを手渡すために

- 「だれが・どこで・どのようにつくったか」の情報を日本一公開します。
- 「国産」「無農薬」にこだわり、日本の伝統食を守ります。
- 原料段階・飼育段階からポストハーベスト農薬、遺伝子組み換え、放射能汚染、トランス脂肪酸、食品添加物などを徹底的に追放します。
- プラスチック容器・レトルト食品を追放します。

日用品

タオルを超えた人を癒すタオル

蛍光増白剤、吸水剤、柔軟剤不使用

宇野タオル

文責 西川 榮郎(オルター 代表)

やわらかく吸水性抜群

タオルの名産地、愛媛県今治市にある宇野タオル 宇野 健二、詔子ご夫妻は、蛍光増白剤はもちろん、製造工程中全てにおいて、柔軟剤、吸水剤など可能な限り薬品を使わないでタオルを作ってきました。

また、石鎚山系の原水を5種類のセラミックで活性化させた水を用いた「ミスト加工」で糊抜きを行い、単なるタオルを超えた「波動タオル」と自ら名付けたやわらかくて吸水性に優れた癒しのタオルを開発しました。

今回ご紹介するタオルは「ひとりしずか」と「草木染め」の2シリーズです。

「ひとりしずか」シリーズ

「ひとりしずか」シリーズの原糸はオーガニック100%です。

ひとりしずかには、「フェイスタオル」、「バスタオル」、「おしぼりタオル」があり、それぞれ「生成り」と「茶染め」（無農薬で栽培したお茶の葉）があります。

「草木染め」シリーズ

「草木染め」シリーズの原糸は輸入綿を国内で紡績した「国産綿糸」です。上糸は30番手という細いやわらかい糸を使用しています。加工まで30日間熟成しています。糸加工時の糊付けは最小限におさえています。

草木染めタオルには「フェイスタオル」、「バスタオル」、「おしぼり」、「ハンカチ（刺繍入り）」があり、色は「ピンク」（西洋アカネの根）、「イエロー」（ヤマモモ樹皮）、「グリーン」（くちなしの実）があります。

草木染めガーゼマフラーには3色、「ピンク」（同上）、「イエロー」（同上）、「オレンジ」（西洋アカネの根）があります。

可能な限り薬品を使わない

綿糸は「一般のコットン」、「オーガニック」にかかわらず、油脂や糊をつけたりして加工しないと、織機にかけて織ることができません。織り上がってからも糊抜きなど仕上げ加工があり、この段階で化学薬品処理が行われる場合があります。

宇野タオルでは、可能な限り薬品を使わないでタ



オルを作りました。加工時の水を活性化処理したり、低温で時間をかけて加工しました。蛍光増白剤（発がん性の疑い）、吸水剤、柔軟剤の使用はありません。

染色についても他のメーカーのようにカチオン（発色剤、色止め剤）は使いたくないので、「ひとりしずか」は生成りと茶染め。「草木染め」は自然な樹液のみで3回の染色工程をとって、安全で自然な草木染めをしています。

ミスト加工

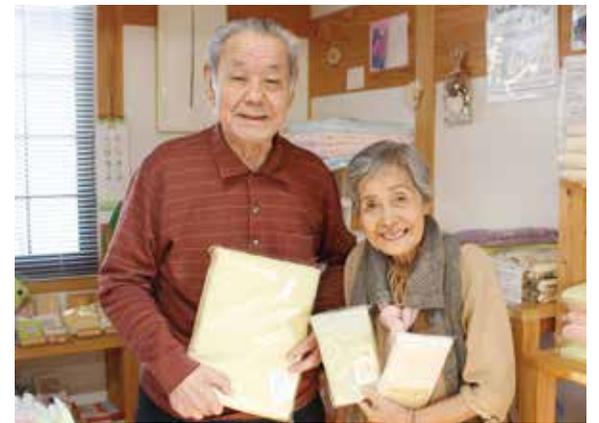
宇野タオルの製造上の特徴のひとつがミスト加工です。このミスト加工によって柔軟剤や吸水剤の追放が可能になりました。

加工に使う水を5種類の特殊セラミックで活性化し、その水を霧状にして生地に吹き付けて、糸の中の糊を抜く特殊な加工方法です。活性水の効果によってやすらぎや温もりの感じられるタオルになっています。

無蛍光タオル

宇野タオルでは、1994年頃から蛍光増白剤（ジアミノスチルベンジルスルホン酸など）を使用していません。

蛍光増白剤はカブレの原因となるほか、発がん性の疑いがあります。薬事法では医療用ガーゼ、脱脂綿、赤ちゃん用品、生理用品への使用の禁止、食品衛生法では紙コップ、紙皿への使用が禁止されてい



宇野タオルの宇野 健二、詔子ご夫妻

ます。

使った人たちからの喜びの声

「このタオルを頭に敷くと、神経が安らぎ、よく眠れる」、「足首の痛みはこのタオルを巻いて良くなった。以来、肩こり、つき指、ねんざなどに愛用している」、「アトピーの娘が愛用している。カユミも楽になった」、「肌触りが良い、ふんわり、ほかほか。よく水を吸う」、「バスタオルを毎日腰に巻いて寝ていたら、腰痛が良くなり、スタイルまで良くなった」、「やわらかいのでバスタオルを赤ちゃんのシーツ用に使っている」、そのほか、「イビキをかかなくなった」、「アトピー肌がキレイになった」、「不妊症の人がハンドタオルを布ナプキンとして使用したら、妊娠して無事出産した」など、宇野タオルを購入した方々から喜びの声が届いています。

人の健康・肌に役立つタオル作り

宇野 健二さんは1957年からタオル製造に携わってきました。タオルは朝起きてから、夜お風呂に入るまで、1日中私たちの濡れる身体を拭く、身近な品物です。

日本ではアトピー、アレルギー症状の子どもたちが急増しています。宇野さんご夫妻の周りでも困っている人が増えていました。

そういった人々の健康やお肌に少しでも役立つタオルを作りたいと、心を込めて、常識に捉われずに試行錯誤を繰り返してタオル作りに取り組んでこられました。宇野タオルは2000年、愛媛県伝統工芸大会で賞を受賞しています。

現在ご夫妻は高齢となり、タオルの工場生産はすでに終了されており、オルターとしてはその製品の価値を高く評価し、今回在庫限りのご紹介となりますが、あえて表紙でご紹介します。

宇野タオルの「ひとりしずか」シリーズ・「草木染め」シリーズ

- ひとりしずか
 - 原糸 オーガニックコットン
 - 種類 フェイスタオル、バスタオル、おしぼりタオル
 - 色 「生成り」と「茶染め」（無農薬で栽培したお茶の葉）
- 草木染めタオル
 - 原糸 国産綿糸（30日間熟成させた国産綿糸）
 - 種類 フェイスタオル、バスタオル、おしぼりタオル、ハンカチ

- 色 「ピンク」（西洋アカネの根）
- 「イエロー」（ヤマモモ樹皮）
- 「グリーン」（くちなしの実）

●草木染めガーゼマフラー

- 原糸 国産綿糸（30日間熟成させた国産綿糸）
- 色 「ピンク」（西洋アカネの根）
- 「イエロー」（ヤマモモ樹皮）
- 「オレンジ」（西洋アカネの根）